

# 千葉の園芸

発行所 千葉市中央区市場町1-1  
公益社団法人千葉県園芸協会  
連絡先 043(223)3005  
発行日 毎月1日  
令和6年8月号

## 県産農林水産物の重点プロモーションについて

千葉県農林水産部販売輸出戦略課  
ブランディング推進室 主査 日下 雄司

県産農林水産物が県内外の消費者から優先的に選ばれるよう、日本なし、さつまいも、米（粒すけ）など、県全体のイメージアップに繋がる品目を核として集中プロモーションを展開し、おいしい千葉の農林水産物としてのイメージ定着を図ります。

### 1. 事業の概要

県では、県内外の消費者に向けて、県産農林水産物の魅力を一層発信するため、千葉県の顔となる品目（以下「重点品目」）を核とした集中プロモーション等を行い、消費者に選ばれるおいしい千葉の農林水産物としてのイメージアップに取り組んでいます。農産物の重点品目は、千葉県が代表的産地であることや、質にこだわった生産をしていること、特徴的な歴史的背景を有することなどを総合的に勘案し、日本なし、さつまいも、米（粒すけ）を選定しています。

に向けた化粧箱のデザインやサイズを検討し、県主催イベントでのテストマーケティングを通して需要の有無を調査するなど、新たな需要の掘り起こしにも取り組む予定です。

### (2) さつまいも

昨年度は、本県とのゆかりがあり、知名度と発信力がある俳優の松本まりか氏を「千葉のさつまいもアンバサダー」に起用し、県内量販店にて「千葉のさつまいもエキスポ」を開催し、商品販売やPR展示を行いました。また、さつまいもの新しいイメージを「紅（ルージュ）のご褒美」というキャッチコピーにより発信するとともに、PR資料を作成・配布して認知度向上を図っています。今年度もさつまいもの魅力発信と新しいイメージの定着を図っていきます。

### 2. 取組内容

園芸の重点品目の取組は以下のとおりです。

#### 園芸の重点品目とプロモーション施策の方向性

日本なし	千葉県は土壌や気象条件に恵まれ、江戸時代からの歴史ある産地として長い年月をかけておいしい梨を作る技術が蓄積されてきた産地であり、生産量・栽培面積・産出額ともに全国第1位（令和4年）であることを訴求する。
さつまいも	青木昆陽により江戸時代から栽培が開始され、技術が蓄積されてきた県産さつまいもの歴史的背景と、産地の品質向上に関するこだわりを、「スイーツ」や加工品など、さつまいもブームで増加する需要と併せた「新たなさつまいもイメージ」として訴求する。



### (3) その他

昨年度、日本なし、さつまいも、粒すけなど重点品目PRリーフレットを制作し、県内全小学校へ配布しました。

#### 県内小学校へ配布したリーフレット



### (1) 日本なし

昨年度は、「日本一の千葉の梨」を訴求する動画を作成するとともに、「千葉のなし 日本一」について消費者の認知を獲得するため、特設サイトによるプレゼントキャンペーンを実施しました。

今年度は、「日本一の千葉の梨」を発信する動画をテレビCMや、量販店の店頭におけるデジタル広告など様々な媒体で使用し、PRしていきます。また、梨は贈答用としてのニーズもあることから、手土産



## 単為結果性品種の導入による春なす産地の発展

千葉県山武農業事務所 改良普及課  
普及指導員 加藤 綾夏

山武地域の春なす栽培では、蜂による受粉やホルモン剤による着果処理をしなくても果実が肥大する単為結果性品種の導入により省力化が進んでいます。今回は、単為結果性品種「PC 鶴丸」の導入に向けた取組について紹介します。

### 1. はじめに

山武地域の春なす栽培では、高齢化で労力が不足し、着果処理や薬剤防除の遅延が見られることから、「着果処理の省力化」が課題となっていました。

この課題を解決するために、着果処理をしなくても果実が肥大する単為結果性品種「PC 鶴丸」の導入に期待の声が上がりました。

そこで、当産地において、「PC 鶴丸」の品種特性の確認及び栽培方法の確立を進め、産地の維持発展を目指すことを目的に普及活動に取り組みました。

### 2. 活動内容

#### (1) 試験ほにおける品種特性の把握

「PC 鶴丸」の収量と果実品質を、慣行品種（「式部」）と比較する試験ほを設置しました。また、「PC 鶴丸」を栽培している生産者を定期的に巡回し、当産地における栽培特性の把握を行いました。

#### (2) 現地検討会・定期的な巡回の開催

試験ほでの現地検討会や、「PC 鶴丸」を栽培している生産者から、栽培上の問題点の聞き取りを関係機関と連携して行いました。



### (3) アンケート調査及び品種選択の判断基準となる資料の作成

春なすの生産者全戸を対象に、品種選択の上で重視することや栽培管理で困っていること、次作で栽培する品種等についてアンケート調査を行いました。また、単為結果性品種の導入に適する経営体の条件を検討し、品種導入の判断基準となる技術資料を作成しました。

### 3. 活動成果

#### (1) 品種特性の把握による栽培管理の改善

「PC 鶴丸」では、収穫時期による収量の増減は慣行品種に比べて小さく、収量を平準化できますが、総収量が1割程度減少しました。また、果形は慣行品種に比べて優れますが、生理障害果や腐り果の発生が多くなりました。これらの課題について、農業事務所で調査したところ、追肥やかん水頻度の栽培管理の改善、花抜き作業の実施が有効であることがわかり、巡回や講習会で生産者に注意を促しました。

#### (2) 品種導入の判断基準となる技術資料の作成

「PC 鶴丸」は、蜂の放飼が不要であることから農薬の選択幅が広がります。また、蜂アレルギーを持つ生産者の安全確保や、蜂の導入による費用対効果が得られない小規模なハウスでのコスト削減等が期待できます。アンケート調査の結果から、「PC 鶴丸」を導入することで栽培管理の改善が期待できる経営体の条件が明らかになったため、生産者自らが経営に合わせた品種選択ができるよう支援しました。

### 4. 今後について

これまでの普及活動から、生産者の労力不足の課題を解決するために、単為結果性品種の導入が有効であることが明らかになりました。今後も、農業事務所では、春なすの栽培上の課題解決を進めるとともに、栽培技術向上のための支援を行い、産地の発展を支援していきます。





## キンセンカのマルチ栽培導入のポイント

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所  
野菜・花き研究室 上席研究員 金子 洋平

南房総地域のキンセンカ栽培では、疫病の発生が問題となっていますが、マルチ栽培により発病を少なくすることが可能です。一方、年末出荷作型におけるマルチ栽培では炭疽病の発生が増えることがあります。マルチ栽培は、春彼岸に出荷する作型において、疫病が問題となるほ場への導入をお勧めします。

### 1. 生育、収穫時期、切り花品質への影響

マルチ栽培がキンセンカの生育や収穫時期及び切り花品質に与える影響を令和元年～3年に調査しました。その結果、草丈やSPAD値、時期別の収穫本数、切り花品質（切り花長、切り花重、脇芽数）に明瞭な差はみられず（データ略）、マルチの有無による影響は無いと判断しました。なお、深さ2cmの地温に対し、マルチ（黒色）の有無による影響を調査したところ、マルチ有りはマルチ無しに比べ、1～3℃高く推移しました（データ省略）。

### 2. 疫病以外の病害への影響

マルチの有無が疫病以外の病害の発生に影響するか調査した結果、うどんこ病と菌核病には影響はありませんが、炭疽病は年末出荷作型のマルチ栽培で発病が多くなるがありました。周辺雑草等で生息していた炭疽病菌が、マルチで跳ね返った雨水を介してキンセンカに感染したと考えられます。

### 3. マルチ栽培お勧めの作型

マルチ栽培では疫病の発生が少なくなることに加え（図）、キンセンカの生育及び切り花品質に影響がないことが明らかとなりました。

この結果から、10月下旬以降に定植する春彼岸に出荷する作型で、疫病が常発するほ場では、疫病の被害を抑えるためにマルチ栽培を導入することをお勧めします。その際、追肥作業ができなくなることを踏まえ、基肥は「エコレット一発484」などの緩効性肥料としましょう。

一方、気温が高い10月上中旬までに定植する年末出荷作型では、炭疽病の発生が助長されることから、マルチ栽培は避けた方がよいでしょう。加えて、この作型では定植直後の気象条件によっては、葉焼けや活着不良が発生することがあるので避けた方がよいでしょう。

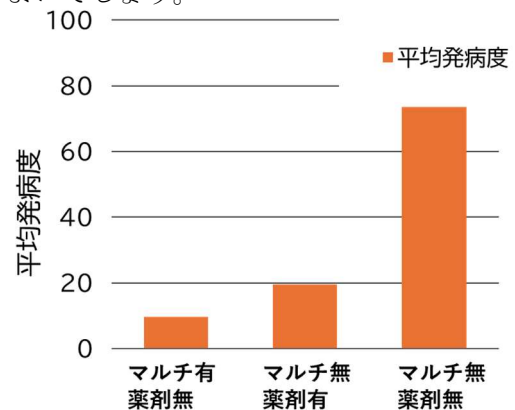


図 キンセンカ栽培におけるマルチの有無が疫病発病度に及ぼす影響

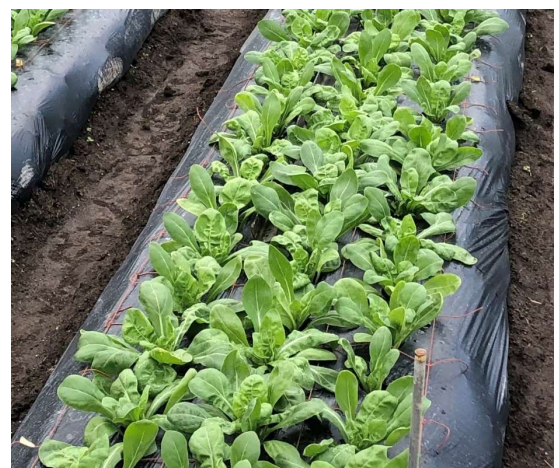


写真 キンセンカのマルチ栽培の様子



## 千葉県野菜品種審査会について

千葉県農林水産部生産振興課  
園芸振興室 技師 佐藤 友音

千葉県野菜品種審査会は、県内の野菜産地に適した優良品種の選定と野菜種子の素質改善を通じ、県産野菜の品質向上と野菜産地の振興を図ることを目的として、千葉県、日本種苗協会千葉県支部、公益社団法人千葉県園芸協会の共催により、昭和27年から開催しています。

### 1. 第71回千葉県野菜品種審査会の開催結果

令和5年度は、だいこん、こかぶ、こまつなの3品目で実施しました。延べ29社から総計58点の出品があり、農林水産大臣賞をはじめとする特別賞5点、金賞6点、銀賞5点が決定しました。

#### 第71回千葉県野菜品種審査会入賞品種

賞名	品目	品種名	出品社名
農林水産大臣賞	だいこん	早生秋こまち	中原採種場(株)
関東農政局長賞	こかぶ	雪牡丹	(株)武蔵野種苗園
千葉県知事賞	こまつな	SC5-040	(株)サカタのタネ
千葉県議会議長賞	こまつな	R1-161	トキタ種苗(株)
一般社団法人日本種苗協会長賞	だいこん	UD-012	横浜植木(株)
金賞	だいこん	NIKURA	(株)トーホク
	だいこん	YR 夏かなで	丸種(株)
	だいこん	秋こまちだいこん	中原採種場(株)
	こかぶ	KS2	(株)トーホク
	こまつな	冬の豪速球	トキタ種苗(株)
	こまつな	R1-699	トキタ種苗(株)
銀賞	だいこん	夏相撲	(株)サカタのタネ
	だいこん	夏巡り	雪印種苗(株)
	こかぶ	MS-1400	(株)武蔵野種苗園
	こまつな	MS1397	(株)武蔵野種苗園
	こまつな	はなみち	野原種苗(株)

### 2. 第72回千葉県野菜品種審査会の開催について

令和6年度は、こかぶ、ほうれんそう、レタスの3品目を対象に実施します。審査会の開催場所、開催時期等は以下のとおりです。

#### 第72回千葉県野菜品種審査会開催計画

品目	作型	播種期	収穫期	審査期	ほ場地
こかぶ	夏どり	7月下旬	8月下旬	8月下旬	農林総合研究センター 水稻・畑地園芸研究所 畑地利用研究室(香取市)
ほうれん そう	秋まき 冬どり	10月中旬	12月上中旬	12月上中旬	農林総合研究センター 野菜研究室 (千葉市)
レタス	3月どり	10月下旬	3月	3月	農林総合研究センター 暖地園芸研究所 野菜・花き研究室(館山市)



## ちばで「農業」学びませんか？

### 千葉県立農業大学校 令和7年度学生募集（推薦入学）

千葉県立農業大学校  
庶務教務課 主幹 梅澤 利明

千葉県は、温暖な気候と豊かな大地に恵まれ、全国有数の農業県です。本校の多くの卒業生が県内の農業分野で活躍しています。

本校では、このような恵まれた環境の中で、実践的な農業を学ぶことができます。農業に関心のある高校生など、ぜひ農業大学校で学んでみませんか？

#### 1. 農学科・研究科の紹介

**農学科** …高校卒業程度 2年制

- ・農場実習や農業に関する講座で、農業の基本を一から学びます。
- ・授業の半分は、実習や実験などです。
- ・先進農家等への派遣を通じて、実践農業の体験学習を行います。
- ・農業機械実習で、大型特殊自動車免許（農耕車限定）の取得が可能です。
- ・多彩な11の専攻教室があり、課題解決型学習により卒業研究に取り組みます。
- ・一人ひとりの進路の実現のため、講座・実習によるキャリアサポートを行います。

**研究科** …本校農学科・農業系短大卒業程度 2年制

- ・「模擬会社」の運営を通じて、生産から販売までの過程を総合的に学習でき、優れた経営感覚を身に付けます。
- ・進路・志望に応じたインターンシップ研修等を行い、職業観の醸成、経営や販売戦略など、実践的に学びます。

#### ◆主な進路

自家就農、雇用就農（農業生産法人等）、農業関係企業、農業関係団体、公務員、進学[農学科⇒研究科等] など



#### 2. 令和7年度 学生募集（推薦入学）

本校は、本県農業の発展に寄与する優れた農業の担い手及び指導者を育成することを目的としており、次のような教育理念を掲げ、入学生を募集します。

##### 《教育理念》

- ・広い視野を持つ豊かな人間性の形成
- ・高度な専門知識・技術・経営管理能力の習得
- ・地域社会における指導者としての資質の養成
- ・土に根ざした実践力のかん養

##### ▼ 募集人員

農学科：約40名 研究科：約10名

##### ▼ 受験資格

農学科：高等学校等を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者で高等学校等の長の推薦がある者

研究科：農業大学校等の農学科等を卒業した者又は令和7年3月に卒業見込みの者で学校長の推薦がある者

▼ 試験期日 令和6年10月17日(木)

▼ 試験場所 千葉県立農業大学校

▼ 試験内容 各科共通

書類審査、小論文、面接

##### ▼ 願書受付

令和6年9月13日(金)～9月27日(金)

##### ▼ 合格発表

令和6年10月28日(月)

##### ▼ 問合せ

千葉県立農業大学校

〒283-0001 千葉県東金市家之子1059

TEL：0475(52)5121 FAX：0475(54)0630

ホームページ：

<http://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/>

★学校見学も随時募集しています！



催物案内



## “千葉なし味自慢コンテスト”開催のお知らせ

### 千葉県農林水産部生産振興課園芸振興室

千葉県の梨は、産出額で全国一を誇り、その品質は「味が自慢の千葉の梨」として、消費者や市場から高い評価を得ています。中生の梨が最盛期を迎えるこの時期に、県内の産地から選りすぐりの梨を集めた「千葉なし味自慢コンテスト」を開催します。

今年は、多汁で酸味と甘みのバランスがよく、食味も濃厚な「豊水」を対象に、県内産地から100点を超える厳選された梨が集まります。

9月1日にはコンテスト出品物の即売も実施予定です。味が自慢の千葉の梨をぜひ御賞味ください。たくさんの皆様の御来場をお待ちしております。

#### 1. 期 日

令和6年8月31日（土）～9月1日（日）

8月31日（土）専門家による審査

※審査の様子を御覧いただけます。

9月1日（日）出品物の即売

#### 2. 会 場

イオンモール津田沼 1階センターコート

（新京成線新津田沼駅下車徒歩2分）

#### 3. 問合せ先

千葉県農林水産部生産振興課

TEL：043-223-2872



（審査の様子）



（開会式の様子）

募集案内



## 「樹勢診断と回復技術講座」の受講生募集

### 千葉県立農業大学校 農業研修科

植木生産者や造園業者、植木などに興味のある方を対象に、樹木の病害虫、気象障害や土壌障害などの基礎知識を習得し、庭木についての樹勢診断と回復技術を屋外ほ場で実習します。帽子、軍手、長靴、昼食などの用意をお願いします。



日 時：令和6年10月1日（火）

受付：9時30分から（油井農場 管理棟）

講義・実習：午前10時から午後4時まで

場 所：千葉県立農業大学校 油井農場 （東金市油井 1048）

講 師：樹木医 松原 功 先生

定 員：30名（先着順）

受 講 料：無料

申込方法：講座名、氏名、郵便番号、住所電話番号、所属を記入の上、

9月1日（日）～9月22日（日）（当日消印有効）の期間に郵送、

FAX 又はメールにて受付。

申 込 先：千葉県立農業大学校農業研修科（担当 小林）

〒283-0001 東金市家之子 1059

（TEL. 0475-52-5140 / FAX. 0475-54-0630）

【メール】 [n.kbysh4@pref.chiba.lg.jp](mailto:n.kbysh4@pref.chiba.lg.jp)

